

# このほんしる

ねんばん  
5・6年版 No.208

ほん  
おみせの本

エスリき にんじょうしょうてんがい  
S力人情商店街1

れいじょう こと おかもと まさき  
令文 ヒロ子 / 作 岡本 正樹 / 絵 (岩崎書店)

ちゃご ごろう けん よしの しおりき  
茶子、吾郎、研、吉野は、塩力商店  
街で育った幼なじみ。ある日4人は、  
じんじや で  
神社に出かけたのだが、そこでかみなり  
が落ち、茶子がたおれてしまう。そして、  
め さ ました茶子がお茶を飲もうとする  
と、表面に人が動いているのが見えた。



しばらくして、お茶にうつっていた映像が現実<sup>えいぞう げんじつ お</sup>に起きて  
てしまう！どうやら茶子と3人の男子<sup>だんし</sup>は、神社で不思議<sup>ふしぎ</sup>  
な力を授<sup>ちから さず</sup>かったようだ。

でも、この力は商店街を救<sup>すく</sup>うためにしか使<sup>つか</sup>ってはいけ  
ないらしい…。

きょうばし  
京橋 (3543) 9025

ちゅうおうくりつ にほんばし としょかん  
中央区立 日本橋 (3669) 6207 図書館

つきしま  
月島 (3532) 4391

●ホームページアドレス

<http://www.library.city.chuo.tokyo.jp/>

刊行物登録番号 24-005

# うちはお人形の修理屋さん

ヨナ・ゼルディス・マクドノー／作 杉浦 さやか／絵  
おびか ゆうこ／訳（徳間書店）

アナは三姉妹のまん中で9才の女の子。  
家では、パパが人形の修理屋さんを開いて  
います。アナ達は自分の人形を持つような  
ぜいたくはできませんが、お店で預かって  
いる人形に、それぞれお気に入りがありました。  
そして、その人形たちで遊ぶのが、  
三人の何よりの楽しみでした。

そんなある日、戦争が始まって、修理に  
必要な材料が届かなくなってしまいます。お店を続けられなくな  
ったパパを助けるために、アナが思いついたことは…。



## 空へ、いのちのうたを

デボラ・ワイルズ／作 よねむら 知子／訳（ポプラ社）

スノーバーガー家は、一族で葬儀会社を  
しています。10才のコンフォートも葬儀を  
手伝っています。親友のデクラレーション  
とも、彼女の母親の葬儀で知り合いました。

そんなある日、はじめてコンフォートに  
家族の死が訪れます。亡くなった人をたく  
さん見てきたので、死には慣れているつも  
りでした。その気持ちを親友と分かちあえ  
ていたはずでしたが、最近のデクラレーシ  
ョンは少しきよりをおきたがっているみたい…。



# トライフル・トライアングル

岡田 依世子／作 うめだ ゆみ／絵（新日本出版社）

小学六年生になったばかりの健と愛は、双子なのに性格はまったくちがう。男の子の健はビーズ織り作りにむちゅうで、女の子の愛は柔道教室に通い練習にいそがしい。

ある日、ふたりが住むマンションの一階に、コーヒー専門店『カフェ・レインボー』が開店。チラシを持ってあいさつに来たのは、男の人みたいに背が高いかっこいい女性だった。興味を持ったふたりは、両親が親せきの結婚式に出かけた夜、こっそり店に行ってみることにした。



# ママ・ショップ - 母親交換取次店 -

セシ・ジェンキンソン／著 斎藤静代／訳（主婦の友社）

オーリのママは、最強におそろしいママ。みんなが見ているテレビ番組も見せてくれないし、すごく厳しい。そんなママは「ママ・ショップ」で交かんしちゃえばいいんだ！

ロボットのマッチャーが、オーリの出した条件にぴったりなママを、みちびきだしてくれました。

新しいママを、むかえたオーリですが、はたして完ぺきなママでしょうか。



# ムカシのちょっといい未来

田部 智子 / 作 岡田 千晶 / 画 (福音館書店)

ぼくは、小村武蔵。あだなの『ムカシ』は、  
家が昔ながらのパン屋をやっていることか  
らついた。人通りが少ない商店街にある店  
は地味で小さいし、パパが『おしんこパン』  
などとっぴょうしもないパンを作っ  
て楽しんでいるから、お客も近所のばあちゃんば  
かりだ。「ちょっとはオシャレなパンを作れ  
ばいいのに」と言っても、ぜんぜんとりあ  
ってくれない。

ところがある日、パパが作った変なパンが大人気に。



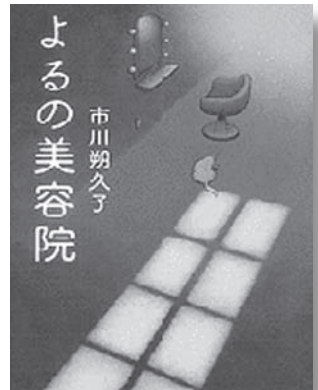
## よるの美容院

市川 朔久子 / 著 (講談社)

まゆ子は、ある出来事をきっかけに、声  
が出なくなりました。そのせいで母親  
とギクシャクしてしまい、学校を休み、親  
せきのナオコ先生の家で暮らすことになっ  
た。そしてナオコ先生が営む『ひるま美  
容院』を手伝って過ごしている。

そんなまゆ子の楽しみは、閉店後の『よ  
るの美容院』。ナオコ先生が、まゆ子のか  
みをていねいに洗って整えてくれるから。

美容院を手伝っていくうちに、閉ざされていたまゆ子の心が、  
やさしくほぐれていく。



# つくろいものやはじめます -お江戸あやかし物語-

みずさわ いおり / 作 いしばし ふじこ / 絵 (偕成社)

『つくも神』を知っていますか？年をとりすぎた道具は、たましいが宿ってあやかしになる事があります。それがつくも神です。

江戸の町のかたすみにある、『つくろいもの屋こまち』は、そんなつくも神たちが始めたお店です。まち針のこまちねえさん、糸切りばさみのちょきち、ぬい針のぬいばあが、着物の仕立てからつくろいものまで、なんでもやってくれます。

しかし、あやかしが営むお店には、ふしぎなお客や事件がやってくるようで…。





# うわさのズッコケ株式会社

なす まさもと まえかわ  
那須 正幹／作 前川 かずお／絵（ポプラ社）

くがつ ながはの にちようび ながよ  
九月なかばの日曜日、仲良しのハチベエ、ハカセ、モー  
ちゃんは、よいつり場として有名な木材港にやってきた。  
まいとし このしきに イワシのむれがくるので、港はつり客で  
いっぱい。でもまわりにお店がなく、食べ物も飲み物も  
か 買えなかった。

ハチベエが家でそのことを話すと、父ちゃんはジュー  
スやべんとうを売ったらもうかるぞと言う。ハチベエは  
はりきるが、しなもの ししい かね た  
品物を仕入れるお金が足りないので、  
どうきゆうせい もとで か かんが  
同級生たちから元手を借りることを考えた。

